

安全要件の決定（操作力計測）

操作力計測

目的：JIS 原案に盛り込む「限界操作力」を明らかにするために、子供 10 数名（可能であれば高齢者も）を対象に、ライターを着火する時の操作力を計測する。

方法：

直押し式：力センサー（直径 10mm，高さ 4mm）を組み込んだ模擬ライターを制作する。これを用いて子供が発揮可能な最大操作力を計測する。

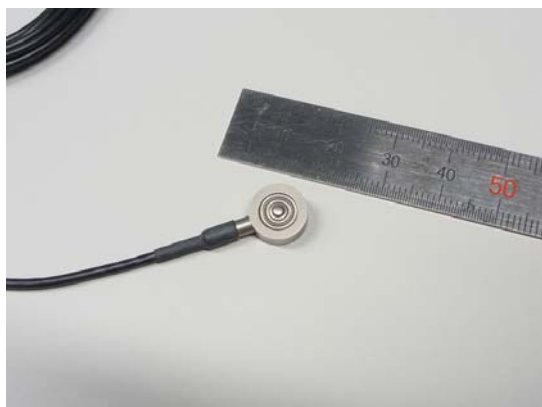


図 1: 力センサー



図 2: 力センサーの配置

模擬ライターの寸法については、ライターの分類を参考に以下の様に設定する。

表 1: 直押し式模擬ライター寸法

外形寸法 [mm]			着火部寸法 [mm]		
高さ	幅	厚み	奥行き	幅	ストローク
約 80, 60	約 20	約 10	約 10	約 10	約 5

スライド式：25, 30, 35, 40, 45, 50N で着火できる同寸法の模擬ライターを用意する。被験者に順次操作してもらい、着火可能なライターの中で最も大きな操作力を要するものを明らかにすることで、子供が発揮可能な最大操作力を

推定する。

模擬ライターの寸法については、ライターの分類を参考に以下の様に設定する。

表 2：スライド式模擬ライター寸法

外形寸法 [mm]			着火部寸法 [mm]		
高さ	幅	厚み	奥行き	幅	ストローク
約 80	約 20	約 10	約 10	約 10	約 10

場所・時期：産総研内部で被験者を調達し、産総研内で実施。7月中旬までに実施予定。